

創薬科学科

1年次

教養教育の卒業要件単位を修得するための講義・実習・実技科目を主体とし、専門分野への導入教育も並行して実施する。

2年次

物理、化学、生物系の基礎科学を主とした講義科目と、基礎科学系及び医療系の基礎薬学実習を実施する。後期からは、創薬・和漢薬・脳機能で特徴付けられる各専門コースに分属し、特別専門実習を実施する。

3年次

生物、薬剤、薬理、衛生、医療系分野を主とした講義科目及び総合薬学演習を実施する。また、卒業研究を開始する。

4年次

卒業研究を主として実施する。医療薬学の講義も選択可能である。また、卒業後のキャリア形成を考える講義を行う。

専門科目

教養科目

基盤教育	薬学概論	製薬企業概論	薬学英語Ⅰ	薬学英語Ⅱ	専門英語Ⅰ	専門英語Ⅱ	薬学経済	
	医療学入門	解析学、外国語 情報処理 医療心理学	行動科学	統計学		総合薬学演習	知的財産概論	
			コース概論	●富山のくすり学		●製薬企業と創薬		
			海外薬学演習Ⅰ、Ⅱ（1～4年次対象）					
物理系薬学		物理化学Ⅰ	物理化学Ⅱ	生物物理化学	構造生物学			
		分析化学	応用分析化学		薬品物理化学			
		物理学	実習（分析化学）		トランスポーター論			
			実習（物理化学Ⅰ）					
			実習（物理化学Ⅱ）					
化学系薬学	基礎有機化学Ⅰ	基礎有機化学Ⅱ	有機化学Ⅰ	有機化学Ⅱ	有機化学Ⅲ			
		基礎化学 化学・物理学実験	物理有機化学	機器分析	●創薬化学			
					合成化学			
					ケミカルバイオロジーⅠ			
					ケミカルバイオロジーⅡ			
			実習（有機化学）	実習（分子機能）	無機化学			
生物系薬学		生命科学 生物学実験	生化学Ⅰ	生化学Ⅱ	○生体調節科学	○先端生命薬学		
			微生物学	細胞生物学		病原微生物学		
			生理学	○人体機能形態学		免疫学		
			実習（微生物学）	実習（生化学）		分子遺伝動物学		
衛生薬学				放射薬品学	衛生薬学Ⅰ	衛生薬学Ⅱ		
				実習（衛生薬学）		衛生薬学Ⅲ		
和漢薬学			和漢医薬学入門	★東洋医学概論		★天然医薬資源学	★和漢医薬学演習	
			生薬学	実習（生薬学）	★東西医薬学Ⅰ	★東西医薬学Ⅱ	★和漢医薬学実習	
医療薬学				○薬理学Ⅰ	○薬理学Ⅱ	○薬理学Ⅲ	病態薬物治療学Ⅱ	
				生物薬剤学Ⅰ	生物薬剤学Ⅱ	●物理薬剤学	病態薬物治療学Ⅲ	
				実習（薬剤学）	●先端創薬学演習	医療薬剤学	病態解析学	
				○実習（薬理学）	○脳機能科学概論	病態薬物治療学Ⅰ		
				●実習（生物化・製剤学）		薬物動態学		
薬学研究				研究室配属	卒業研究			
					発表会 ポスター			
専門コース					（●：専門コース指定科目、先端創薬学演習は3、4年次対象の夏期講習）			
					（★：専門コース指定科目）			
					（○：専門コース指定科目）			

必修科目
選択科目
実習（必須）
自由科目

コース分属

（コース概論）

先端創薬学専門コース
和漢医薬学専門コース
脳機能科学専門コース

特別専門実習

▶▶▶ 学士（薬科学）に求められる能力

幅広い知識

人文科学・社会科学・自然科学・健康科学の諸分野を学際的に捉え、多様な文化的・歴史的背景を持った地域や社会を理解し、行動する能力を身に付けている。

専門的学識

物理学、化学、生物学等に基づき、和漢薬を含む伝統医薬学から先端薬学までの創薬科学に関する幅広い学識、及び情報・科学技術に関する専門知識と規範意識を修得・展開し、医薬品創出を目指した研究・開発に取り組むために必要な創造的思考力と実験技術等を身に付けている。

問題発見・解決力

自然現象に対する強い知的好奇心・探究心を持って薬科学関連分野の課題に取り組み、学術情報の収集・分析及び実験等の研究活動を通して得られる結果を論理的に考察し、解決に向けて議論・発表できる能力を身に付けている。

社会貢献力

医療人としての規律、倫理等を守り、患者及び医療に関わる全ての人々の立場を理解しながら、創薬科学研究者として果たすべき役割を認識し、地域と国際社会に対して責任ある行動をとる能力を身に付けている。

コミュニケーション能力

他者との積極的な意思疎通を図り、共に学ぶ姿勢を心がけることで、豊かな人間関係を築きながら自己の成長へとつなげることに努め、異なる考えや言語文化を有する人々の立場を理解し、誠実かつ柔軟なコミュニケーションをとる能力を身に付けている。